

日本リハビリテーション医学会 御中

「東日本大震災被災地における調査・研究に関する緊急声明」  
ご周知について（お願い）

拝啓

この度の東北地方太平洋沖地震の被害につきまして、心よりお見舞いとお悔やみを申し上げます。

日本精神神経学会は関係諸団体と連携した対策本部を設置し、精神医療・保健活動への取り組みを支援するとともに、向精神薬の不足への対応等を行って参りました。さらに、精神医療・保健活動の緊急支援の取り組みの体験を共有し、今後の復興にむけた長期的な活動を強化すべく「東北関東大震災に対する緊急支援対策ワークショップ」(5月21日(土)午前、ホテル・グラン・パシフィック・ル・ダイバにおいて)の開催を予定しています。

このような活動をする中で、被災された方々への非倫理的な研究、調査が行われる懸念があり、緊急声明を発表致しました。阪神淡路大震災、中越大震災の際にも同様の問題が発生しており、ご周知をお願いしたくここに緊急声明文をお送りした次第です。

格段のご高配をいただきますようお願い申し上げます。

引き続き、精神医療・保健へのご支援を賜りますようお願い致します。

敬具

2011年4月20日

日本精神神経学会

研究倫理委員会

委員長 尾崎 紀夫

広報委員会

委員長 細田 眞司

連絡先:

日本精神神経学会 事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-38-4

本郷弓町ビル 4,5F

TEL: 03(3814)2991/FAX: 03(3814)2992

ホームページ: <http://www.jspn.or.jp/index.shtml>

E-Mail: [info@jspn.or.jp](mailto:info@jspn.or.jp)





## 東日本大震災被災地における調査・研究に関する緊急声明文

この度の東日本大震災によって被災されました皆様に、お見舞いを申し上げますとともに、亡くなられた方々へのご冥福を心よりお祈り申し上げます。

被災地の皆様は大変な思いを持ちながら、復興に向けて懸命のご努力をされていることと存じます。日本精神神経学会と致しましても、「災害対策本部」を発足させ、被災地の精神医療支援に必要な情報を収集し、精神医療関連諸団体から派遣される「精神医療支援チーム」の後方支援活動を実施しております。

「精神医療支援チーム」は、被災者の方々が現在、どのような心身の状態でおられるかを確認し、心身の健康を保つための方策と、心の健康が既に損なわれていると判断された方々には適切な治療方法を、各被災者の方々の実情にあわせて提供するお手伝いをしております。

一方、「心の状態に関する調査・研究」といった形で、精神的に傷つき、心身ともに疲弊しておられる被災者の方々を対象として、配慮を欠いた面談やアンケートによる「心の状態に関する調査・研究」が行われている実態があります。

人を対象とした全ての「調査・研究」は、「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」等の政府省庁が定めた倫理指針に則り、倫理委員会によって、その倫理性や研究としての科学性に関して審議の上で承認を受け、承認内容に則して実施する必要があります。ところが、被災地で行われているこのような調査・研究の中には、このような倫理的配慮がなされておらず、また、調査対象となった各被災者の方々に援助も提供しないものがあります。

過酷な状況下におかれている被災者の方々は、「心の状態に関する調査・研究」の対象となった結果、一層の精神的負担を負い、傷ついた心の回復が遅れる、あるいは新たな心の傷を負うことが危惧されます。また、配慮を欠いた「調査・研究」が行われたために、被災者の方々が心を閉ざし、本来必要な「精神医療支援チーム」の活動にも支障が生じております。

日本精神神経学会は、被災者の方々に不適切な精神的負担を強いる、倫理的配慮を欠いた調査・研究は、人道・倫理に反するものであり、強く抗議の意を表明するとともに、即刻の中止を求めます。また、人を対象とした全ての調査・研究に関し、政府が策定した倫理指針に則り実施されることを改めて確認させていただきます。

平成 23 年 4 月 20 日 社団法人 日本精神神経学会  
理事長 鹿島 晴雄